

1000 | インテリアデザインⅠ

4単位（通信授業2単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、伊藤真一教授、足立正講師、伊坂重春講師、奥村梨枝子講師

授業の概要と目標

私たちは、毎日様々な空間で暮らしているが、優れた空間は便利さや快適性に加え、時には、安らぎや安心感を与えてくれる。空間とは、そこに暮らす人、使う人、感じる人、すべての人の行為があって初めて空間として認識されるものである。

ここでは、我々の暮らしの起点となる身近な空間のデザインを通して、空間とは、機能とは、表現とはという空間デザインの基本的な考え方と表記の基礎を学ぶ。

課題の概要

○通信授業課題1「住空間のリサーチ」

普段なにげなく見過ごし、暮らしている空間を意識して独自に評価してみることで、“見る事”そのものがデザインの基本であることを学ぶ。

○通信授業課題2「空間製図とイメージスケッチ」

空間デザインを学んでゆく上で基本的な空間表記の基礎を学ぶ。

○面接授業課題「身近な空間のデザイン」

身近な空間の模型制作を通して、テーマ、コンセプト、プランニングまでの基本的な考え方を学ぶ。

授業計画

[通信授業]

○通信授業課題1「住空間のリサーチ」

写真と図面等で少なくとも3点以上の住空間をリサーチし、それぞれに独自の批評を加えて、レイアウトを含めたレポートを作成する（スケッチ可）。

○通信授業課題2「空間製図とイメージスケッチ」

面接授業で制作した身近な空間の制作意図、平面図、立面図（4面）、断面図、イメージスケッチを制作する。

[面接授業]「身近な空間のデザイン」

指定された空間を自由にイメージし、イメージに叶う模型を制作する。

第1日 オリエンテーション テーマ、コンセプト、プランの作成

第2日 モデル制作

第3日 モデル制作

第4日 モデル制作 プレゼンテーション 講評

OLP オンラインプラス [準備] 一面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

成績評価の方法

[通信授業] 評価軸を発想、展開、表現に分け、さらに総合的に評価する。

[面接授業] 上記に加え、制作プロセス（過程）を評価する。成績評価は総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1年次

[履修条件] なし

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース指定科目。スペースデザインコース進学希望者は1年次に履修すること（2年次編入学生は2年次）。スペースデザインコース3年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。スクーリング時に受講人数を制限する場合がある（スペースデザインコース進学希望者を除く）。

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

教材等

教科書：寺原芳彦監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
：横溝健志、小石新八編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
学習指導書：『インテリアデザインⅠ・Ⅱ 平成29年度』
（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

面接授業の中で、デザインや製図に必要な道具など基礎的な説明があります。空間デザインに関して初めての学生は、通信授業よりも先に面接授業を受講するのもよいかもしれません。